

篠田陽一

Self Introduction

北陸先端科学技術大学院大学 (JAIST)
情報社会基盤研究センター教授

StarBED プロジェクトファウンダー
NICT北陸StarBED技術センター

WIDEプロジェクト 運営評議員

内閣サイバーセキュリティセンター (NISC)
サイバーセキュリティ補佐官参与

情報通信研究機構 (NICT)
R&Dアドバイザー

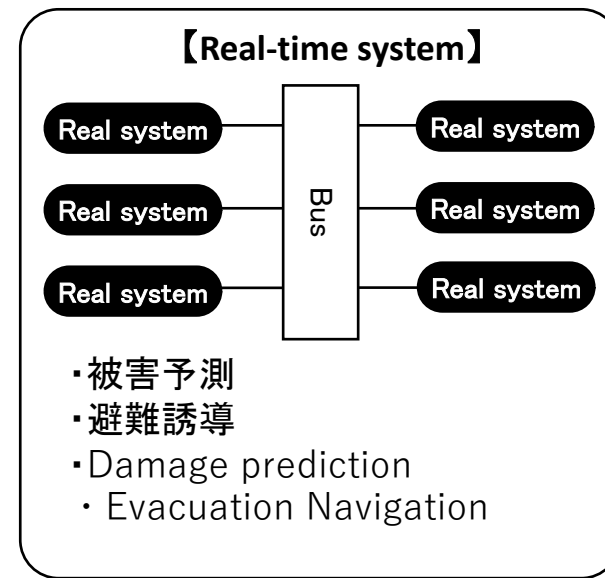
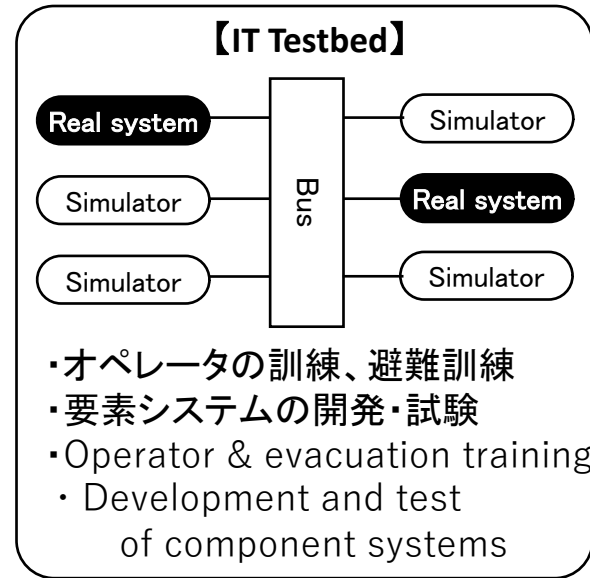
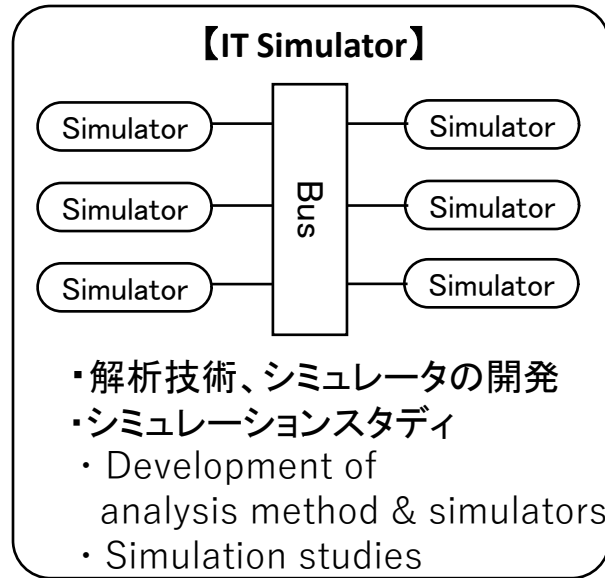


Questions

社会課題を解決するためのテストベッド
とはどういうものなのか？

HaaS型のテストベッドは時代遅れなのか？

社会課題を解決するテストベッド Beyond Digital Twin — CyReal連続体



構成システムの差し替えにより異なる動作モードを実現
Different modes of operation can be implemented by replacing the component systems.

CyReal連続体に必要な技術

- クロックの管理
- すでにあるHILS, SILS, MILS技術の精査と拡張・導入
- スケーラブルシミュレーションの技術
- 社会システムへの適用を通じた経験のフィードバック

StarBEDは時代遅れになったのか？

- CyReal連続体の実現には適切なモデル化によって混合されたさまざまなサブシステムの大規模同時並列実行が必要。
- その意味であらゆるXaaSを大規模に提供できるStarBED型のテストベッドは有用であり続ける。